

文教厚生委員会

健康で心豊かな生活ができる医療福祉環境、共生社会へ!
いじめ等のない、子どもたちが笑顔で学べる学習環境へ!

●糖尿病、糖尿病予備軍対策。運動量と野菜摂取量アップへ!

- 本県の糖尿病死亡率、予備軍の割合が全国平均より高い状態が続いている。公共交通が発達していない本県では、運動量(歩数)も全国平均より少ない。野菜摂取量は13年前の約260gから約310gへと増えているが、1日摂取目標量350gに達していない。

⇒適度な運動、野菜摂取の継続した推進が必要である。

●県立高校の学区制について有識者会議による検討が開始!

- 現在の3学区制では、他学区からの進学が難しく、生徒の意欲などを考えると学区制をなくすのが良いという意見がある。一方で、遠距離通学や生徒流出などの課題もある。学区制を廃止した福井県を視察。

⇒県の地理的・社会的状況を考慮し、学区制見直しまでの環境整備が大切であり、他県の状況も参考にした丁寧な議論や説明が不可欠である。

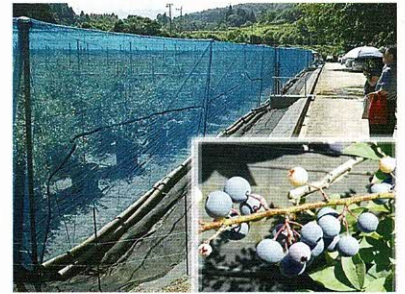
●農福連携の推進で雇用促進と人手不足解消へ!

- 農業と福祉分野が連携し、作物の生産や出荷調整などを障がい者や高齢者が請け負うことで、雇用促進と人手不足解消の両得につながる。

阿南市内で障害者支援施設が藍の生産を行っている。

⇒推進していく上で、両者のマッチングを進めることと、6次産業化による生産物や製品の付加価値化などが必要である。

農福連携による
ブルーベリー栽培



石川県金沢市

フリースクールの公教育化

東京シユール学園 東京シユール葛飾中学校



東京都葛飾区

児童による読み聞かせ活動



徳島市立北井上小学校

その他 文教厚生委員会での議論

- SNSを活用したいじめや不登校解消へ向けた相談事業
- 台風や地震・津波浸水などを想定した、文化財災害対応マニュアル
- 風しんの全国的な流行に備え、抗体検査の無料実施
- 「阿波あいネット」による医療機関における情報共有 他

防災対策特別委員会

大阪府北部地震や西日本豪雨災害が発生。避難路の安全確保、避難所のQOL向上など 更なる防災減災対策が必要!

●市町村が行う防災減災対策をバックアップ! 防災減災関連事業費の拡充を!

- 市町村が行うブロック塀の撤去や再築、避難所の確保、トイレ改修などを補助する「進化するとくしまゼロ作戦緊急対策事業」の予算拡充や対象事業内容の拡大などを進める必要がある。
- 災害対策の拠点となる公共施設整備や公用施設の耐震化などが対象となる「緊急防災減災事業債」の延長(現H32年度まで)や恒久化などを、国に対し更に政策提言していくべきである。
- 豪雨による浸水想定区域などハザードマップの周知とともに、河川水位情報や避難情報などを住民が取得でき、避難できる伝達手段や避難体制を早急に構築してゆく必要がある。

徳島県土防災情報管理サイト (<http://www1.road.pref.tokushima.jp/>)
徳島県災害時安否確認メール「すだちくんメール」(<https://s.ourtokushima.jp/>)
の登録・活用を図るべき!



南部総合運動公園 陸上競技場整備
発災時の県南部支援物資拠点となる



経済委員会

(H29年度 2月定例会)における質疑

- ・「LEDデジタルアートフェスティバル」の(2月開催)総括と来場者数の算出方法について
- ・東京都渋谷に本年2月オープンした情報発信拠点「ターン・テーブル」の運営に関して
- ・徳島ブランドの国内外への発信方法「徳島」と「阿波」の関連性を強めた広報の必要性 他